

平成29年度 第2回埼玉県立図書館協議会会議録

◇ 日 時 平成29年11月10日(金)午後2時30分～午後4時30分

◇ 会 場 熊谷市緑化センター 研修室(2階)

◇ 出席者 (1) 出席委員
西浦大治郎 委員 笛木智恵美 委員 深堀敬治 委員
江田明子 委員 小柳直昭 委員 酒井由紀子 委員
荷田幸雄 委員 早川恭子 委員

(2) 図書館職員

【県立熊谷図書館】

代島 館長 大嶋 副館長 荻原 副館長 村中 司書主幹
高橋 司書主幹 峰岸 司書主幹 小西 司書主幹
佐藤 司書主幹 村上 担当課長 山崎 主任 河田 主任
三好 主事

【久喜図書館】

及川 館長 長谷川 副館長 銭場 教育主幹

(3) 教育局職員

【市町村支援部】

塩崎 副参事

◇ 会議次第

1 開 会 [熊谷図書館 大嶋 副館長]

2 あいさつ 県立熊谷図書館 代島 館長

3 平成29年度第1回会議録の報告

4 会議録署名委員の指名

会長が、西浦委員と小柳委員を指名し、了承された。

5 会議を公開することについて議決

傍聴希望者はいない旨の報告あり。

6 議 事

(1) 県立図書館の図書館協力及び資料収集・整理について

[熊谷図書館 高橋 司書主幹]

資料1「図書館協力業務について」及び資料2「収集・整理業務について」に基づき説明。

【質疑】

会 長／現役のころ、便利に使っていた I S B N 総合目録だが、説明にあったように、瞬時に資料がどの図書館にあるか分かるというのが大変便利であった。今は横断検索や、各図書館の蔵書検索ができるようになったが、カウンターで利用者と相対していて、資料があるかないか早く知りたいという方もいるので、そういう時に使うと、最新の資料でなければ、どこの図書館にあるか分かり、自分の図書館になくても借りられる可能性が分かるということで、そこで一拍置くことができ、カウンターの対応としてはとても助かっていた。最近の I S B N 総合目録の使用状況はどうなのか。

事務局／私も I S B N 総合目録はもう少し使われているというイメージでいたが、どうしてもデータ自体がどこの図書館で持っているという情報だけなので、今現在あるのか、予約があるのかとか、そこまではわからないということもあり、インターネットもこれだけ普及しているので、どちらかと言うと横断検索とか図書館の蔵書検索のページから確認するという方向に流れていると感じている。

委 員／うちの図書館でも I S B N 目録の方が反応が早く、県内の全部の図書館の有る無しがわかるので、カウンターの窓口でリクエストを受けた時、とりあえずどこかに有るという即答性がある点で、I S B N 目録は大変重宝に使っている。そう回答した後で、横断検索を行い、実際に借りるのはどこの図書館かという 2 段階で答えることが多い。横断検索は、使い慣れないと、たとえば欲張っているんな図書館のところにチェックを入れてしまうと、割と重いというか、なかなか回答が出てこないことがある。そういう使い分けで使用しているので、I S B N 目録の方も維持していただければと思う。

副会長／今のことに関連して、私が思い浮かべたのが「ゆにかネット」という国立国会図書館が維持しているデータベースで、そちらでも横断検索が可能だと思うが、県立図書館は参加していると思うが、県内の市町村立図書館はどうなのか。

事務局／非常に大きな図書館は、入っていると思う。

副会長／相互貸借に結び付けるには、国立国会図書館のそのシステムなのかと思った。県立図書館はどのようにデータを提供しているのか。

事務局／県立図書館では、担当が定期的に蔵書データをチェックして、すでに提供していたデータとの差分データを作成し、国会図書館あてにそのデータを提供している。

委 員／資料 1 の 2 ページに図書館協力担当者会議の開催とある。私が地元の図書館を利用して、そこにはないということになると相互貸借で他の

図書館から借りる形になるが、最初に窓口で言われるのが、これは他の市から借りている本なので延長はできないことである。貸出期間は2週間で、もちろん一生懸命に読んで、2週間以内に読み終わったらすぐに図書館に返すようにしているが、かなりボリュームのある本の場合、もし可能であるのなら、こういう協力担当者会議の場で、1回ぐらいは延長できるようにする話をしていただけるとありがたい。もちろん他の人がリクエストをかけていたらそれが優先だということはわかるが、そうでない場合もあると思うので、他の自治体から、県立図書館も含めて貸してもらった資料についても、1回ぐらいは延長できるような方向で協力担当者会議の場で話していただけないかという要望が1点。

それと、資料2の7ページで、去年は15,269冊収集したということはわかったが、図書館は収集だけではなく当然蔵書の点検を行い、いらぬ本は廃棄ということになると思うが、その数字は要覧か何かに載っているのか。その数字を教えて欲しい。

事務局／要覧の15ページの下に、資料収集という形で載せている。「受入」というのが、購入・寄贈などで受け入れたもの、「払出」というのが除籍を行った数である。県立図書館は市立図書館と違い、所蔵して年限が経ったから除籍ということは行っていない。除籍の理由としては、例えば複本があって、スペース的な問題もあって2冊を1冊にするとか、貸出をして返却されないで不明となった場合や、汚破損とか、そういう事情で除籍を行っている。

委員／資料1の5ページに協力車の配送ルートが全7コース載っているが、地図の左側の秩父、小鹿野あたりが空白地帯になっている。そのようなところのカバーはどうしているのか。大滝、荒川、小鹿野は非常に人の数も少ないし、学校に通うお子さんも少ないと思うが、こういうところには昔、移動図書館車が本を積んで回っていた。今現在どういう状況なのか。

事務局／県内の63市町村については、図書館がないところも公民館図書室があるので、全て物流は整備している。ただ、自治体によっては本館の他に分館があり、合併した自治体については、その中で中央館をどこかに設けている。全て寄ることができないので、例えば秩父市では、秩父市立図書館には必ず寄って、そこから先は自治体の物流でお願いしている。

事務局／この地図上では、秩父方面に行っていないように見えるが、実はすべての市町村を回っていて、たまたま山間部ではないところに拠点施設があるということである。たまたま空白が多く見えるようになっているが、各市町村のどこかの拠点施設には必ず回っている。

委員／確認だが、資料1の6ページに、搬送量、巡回回数の推移があり、先

程だいたい年間90万件的輸送があるということであったが、三郷市で昨年度、相互貸借で貸すのと借りるのを合わせて8,000冊ちょっとであった。資料を見ると、26年度は96万件、28年度は90万件と、6万件減っている。数で6万件というのは多いと思うが、その原因などを教えていただきたい。たとえば県立浦和図書館が閉館になったことが影響しているのか。

事務局／搬送量が減った原因の一つには、やはり県立浦和図書館が閉館となり、その資料が県立熊谷図書館へ移管されて、県立浦和・熊谷間の相互貸借が休止となったことがある。

先程要望があった貸出の延長の件について補足をさせていただく。相互貸借の貸出期間は、規定により30日間と決まっていて、借りる期間と返す期間を合計して4週間で収めるということで行っている。延長はできないと窓口で伝えている場合もあるかもしれないが、県立の場合は、次に予約が入っていなければ、問い合わせを受け延長に対応している。どのくらいの図書館があるかわからないが、問い合わせで延長の手続きをとっている館もあると思う。

会長／延長に関しては、私の勤めていたさいたま市でも、相手方に問い合わせ、予約が入っていなければ4週間の範囲の中で認めていたが、それぞれの自治体、図書館によっては、延長を一切受けないというところもあると思う。

(2) 県立図書館のビジネス支援サービスについて

〔熊谷図書館 小西 司書主幹〕

資料3「県立熊谷図書館のビジネス支援サービス」に基づき説明。

【質疑】

委員／手前味噌になるが、11ページ、12ページに連携・協力機関が記載されているが、日本技術士会埼玉県支部でも、埼玉県の産業労働部とか、埼玉県中小企業団体中央会、各商工会議所と連携して、主に製造業の方たちの技術的な支援などを長く行っている。昨日も技術課題相談会ということで中小企業の方と会っていろいろな話をさせてもらったが、今日改めて詳しいビジネス支援の内容を聞かせてもらい、もっと早く知っておけばよかったという気持ちを強く感じた。私の知り合いの中小企業診断士や技術士などは、こういうサービスがあることを知っている人はあまりいないように思う。そういう中で、1年間の支援室の利用人数とか、職業とか、そういうデータがあれば伺いたい。

事務局／ビジネス支援室に入室した方は、28年度は15,281人であったが、アンケートなどは取っていないので、統計的にどのような職業の方

が来たかということとはわからない。ただ、商工会議所などで相談を受ける中小企業診断士さんが頻繁に利用していて、これから経営改革をしたという方や、就職や転職をしたいという方も最近はかなり増えている。

委員／最後に非来館者の方へのサービスについての説明があったが、私どもがみて一番魅力があると思うのは、14種類のデータベースだと思う。特にMieNaとかCD・Eyes50などは非常に良いデータベースだと思っているが、そこに行かないと使えないということがある。先程、話があったWebで相談内容を受け付けて、それを何らかの形でアウトプットを出して答えるというサービスを検討しているということだが、是非それをできるだけ早く進めていただけると、特に中小企業診断士の方や行政書士、司法書士の方たちにとって大変役に立つと思う。これはお願いである。

事務局／今も照会はメール等で受けているが、契約上プリントアウトしたものを郵送で送ることはできない。従って、あらかじめこういうことが載っているかとか、どんな資料があるのかを問い合わせさせていただくか、浦和分室が近い場合は、そちらで受け取っていただくことになる。資料にあるいろいろな団体・機関にも是非伺って、宣伝をしたり、意見をいただいたりしたいと思っている。

委員／埼玉県の大きな産業関係のイベントであるビズサイタマが昨日、一昨日にソニックシティであり、来年の1月には彩の国ビジネスアリーナという、埼玉県で過去一番大きな産業関係のビジネスフェアがある。そういうところには出展しているのか。

事務局／今年度は出展していない。出展をすると、かなり業務量が増え、職員が1日中そこに行っていることになる。去年はSAITAMA Smile Woman フェスタに出展した。出展したいという気持ちは非常にあるが、今のところは、もし出展できたとしても年1回くらいかと思っている。

委員／追い追い検討していただきたいと思う。

(3) その他

ア 「図書館と県民のつどい埼玉2017」について

イ 平成29年度 関東・甲信越静地区図書館地区別研修について

[熊谷図書館 峰岸 司書主幹]

資料4「図書館と県民のつどい埼玉2017」概要及び資料5「平成29年度 関東・甲信越静地区図書館地区別研修開催要項」に基づき説明。

【質疑】

特になし

ウ その他

副会長／今日、熊谷図書館を拝見させていただいて、実は覆面で夏休みに一度行ったことがあるが、すごく良いところは、人の対応がよろしいと感心したのと、細やかな配慮として、カートがあったりするところが良いと思った。ちょっと残念なところは、建物が古いのは致し方がないと思うが、少し、掲示とかサインを見直すと良いと思った。ビジネス支援のところはさすがに新しいので、統一したサインがあって、ラックなどもきれいにできているが、他のところは、古いサインや掲示がかなり残されていると見受けられた。少しすっきりさせると利用者にもわかりやすく、気持ちよく使っていただけたらと思った。

事務局／サインの方は、リニューアルの時に一度きれいにしているが、御意見をを受けて、そういった目でもう一度サイン、掲示を見直してみたい。

以上で、議事終了

7 閉会

〔熊谷図書館 大嶋 副館長〕

平成29年度の第3回協議会は、平成30年2月14日（水）に県立久喜図書館で開催する予定。

会議録署名

会 長 _____ 印

委 員 _____ 印

委 員 _____ 印